

# IBD 患者の思春期の学校生活に関する研究へのご協力をお願い

思春期以前から 炎症性腸疾患 (IBD) 療養中の 成人のみなさまへ

**中学生・高校生のころのお話を 聞かせていただけませんか？**

はじめまして、こんにちは。

私は 北海道の札幌にある、天使大学大学院で看護学を専攻して学んでおります、学生の西村香織と申します。

私は、炎症性腸疾患 (IBD) の方が、思春期の療養の中で、特に学校生活ではどのような経験をされたのかについて研究中で、様々なお声を伺うため、**インタビューに応じてくださる、成人の方**を募集しています。

具体的には、**18 歳までに IBD (潰瘍性大腸炎・クローン病) と診断され 治療を続けられている 現在 18~29 歳の方**を募集しています。ぜひ、下部の QR コード・メールアドレスからご連絡ください。

## 研究の主旨

- \* 炎症性腸疾患 (IBD) の療養における様々な課題のうちいくつかは思春期の学校生活の中にもあると考えます。
- \* そこで、みなさまと一緒に中学生や高校生の頃を振り返りながら、療養にかかわる学校生活やころの動き、また進路に関する考えや経験を教えていただくことで、IBD の方々の学校生活を明らかにし、思春期の子どもたちへのより良い看護や支援を目指していこうと考えています。なお、研究結果は患者会の皆様へわかりやすい形でご報告する予定です。

## ご依頼内容

- \* 面接によるインタビューをお願いいたします。お話を伺う時間は 60 分程度で、面接日時と場所は、研究に協力して下さる方のご都合に合わせて設定します。ご希望に応じ、Google Meet 等のオンライン会議システムの活用もできます。
- \* 謝礼としてクオカード 3,000 円 (交通費含む) をお渡しします。
- \* 面接内容は、IBD の療養と学校生活を並行して過ごす中で、中学校や高校ではどのような経験をされたのか、それにどう対処されたのか、療養中は進路選択や将来の自分自身についてどう考えていたのか、などについてです。振り返りながら自由にお話しいただきます。
- \* お話の内容を正確に理解するために、IC レコーダーに記録させていただくこと、また、必要に応じてメモを取らせていただくことをご理解ください。

## お約束

- \* 研究への協力は自由意志であり、研究協力を断ることや途中での辞退、回答の拒否ができること、その場合にも一切の不利益が生じないことを保証いたします。

ご協力いただける場合にはお手数をおかけいたしますが

Google forms (右) または E メール (下) にてご連絡ください。**10 月 31 日まで** 募集しています。



ご参加・ご質問は  
こちらから！



【問い合わせ先・研究代表者】 西村 香織 (E メール : [2024e501@student.tenshi.ac.jp](mailto:2024e501@student.tenshi.ac.jp))

天使大学大学院 看護栄養学研究科 看護学専攻 博士前期課程 学生 / 指導教員名 : 日沼千尋、伊織光恵

所在地 : 〒065-0013 北海道札幌市東区北 13 条東 3 丁目 1-30 / 代表電話 : 011-741-1051